第33号
令和４年10月

沖縄高専だより

National Institute of Technology,Okinawa College

目　次

1．校長より …… 2
2．副校長の紹介 …… 3
3．１年クラス担任からの挨拶 …… 4
4．２年クラス担任からの挨拶 …… 5
5．３・４年クラス担任からの挨拶 …… 6
6．５年クラス担任・専攻科長からの挨拶 …… 7
7．課外活動の様子（楽器部） …… 8
8．課外活動の様子（水泳部） …… 9
9．１年生クラス紹介･入学してからの感想 …… 10
10．２年生クラスの様子・活動紹介 …… 11
11．３年生クラスの様子・活動紹介 …… 12
12．学生会より …… 13
13．寮生会より …… 14
14．航空技術者プログラム紹介 …… 15
15．地域連携研究推進センター活動紹介 …… 16
16．卒業生の活躍の様子 …… 17･18
17．後学期行事予定表 …… 19

独立行政法人国立高等専門学校機構
沖縄工業高等専門学校
〒905-2192　沖縄県名護市字辺野古905番地
TEL：0980-55-4003　FAX：0980-55-4012
WEB▶http://www.okinawa-ct.ac.jp

沖縄工業高等専門学校

校長　佐藤（さとう） 貴哉（たかや）

本年度４月１日に着任いたしました第５代校長の佐藤貴哉です。

COVID-19感染症が認知されて、間もなく３年が過ぎようとしています。人類の英知を集めたmRNAワクチンや変異株ウイルスにも効果があると言われる飲み薬の開発で、現在は危機的な状況から脱しつつある様に思います。本校では今年度、対面での入学式を行うことが出来、校内の感染拡大抑止も「小規模で短期の登校禁止期間を設ける」ことで制御出来るように成って来ています。油断できない状況ではありますが、このように高専の教育研究活動を対面で実施出来るのは、学生をはじめ、保護者の皆様や、後援会、沖縄高専産学連携協力会、そして本校を応援していただいている地域の皆様のご理解とご協力があってこそのことと、教職員を代表し、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、2002年に開校した沖縄高専は、来年、創立20周年の記念の年を迎えます。沖縄高専は創設以来、地域と共に発展することを希求し、地域の皆様の温かいサポートをいただきながら、地域に根差した高専として歩んで来ました。一方、この20年で産業界は大きく変化しました。地球温暖化の課題が正しく認知され、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」に適合した経済活動が強く求められる様になりました。デジタル技術の大きな進展によって「Society$^{5.0}$」の概念が登場し、それを実現するために人工知能（AI）がいろいろな場面で用いられるようになりました。世界の産業構造が大きく変わろうとしています。同様に沖縄の産業界も大きな変化の只中にあります。沖縄高専の次なる10年では、高専が得意とするICT、AI、もの造り、ライフサイエンスの基盤技術を活かして、沖縄の産業界に貢献できる技術開発と人材育成を強力に進めていきたいと考えています。

その第一弾として、沖縄高専では、来年度から「観光・地域共生デザインコース」を設置することにいたしました。これは副専攻として、すべての学科の希望する学生が、高専に在籍する五年間をかけて、DX関連技術の基礎と最先端技術、データサイエンス、ツアーリズムサイエンス、沖縄の文化と歴史、観光経営、アントレプレナーシップ（起業家精神）などを学ぶ特別コースです。DX関連技術で沖縄観光産業に新たな高付加価値を創造できる地域共生デザイナーを育成します。沖縄の自然環境、農作物、水産物、工業製品も含めて沖縄観光産業に関連するあらゆるモノ、コト、ヒトを支援し、沖縄の観光にイノベーションを起こすことが出来る人材を産官学連携で育成したいと考えています。高専出身のスタートアップ企業社長、観光とICT分野で優れた実績を有する方々を講師として招き、エキサイティングな講義や実習を展開します。高学年では企業と連携したインターンシッププログラムも実施します。高専内での教育だけではなく、観光やIT企業と連携した共同開発事業に学生が参加するプロジェクトベースの社会実装教育も大きな特徴です。二十歳を迎える沖縄高専の新たなる挑戦に注目いただき、ダイナミックに変化し、成長する沖縄高専の学生へ皆様からの温かい応援をお願いいたします。

副校長の紹介

副校長
（総務・教育・入試担当）
眞喜志（まきし） 治（おさむ）

Q気分転換したいときに考えること

想定を大きく下回ったときでも正解を導くRPGの商品化

人の動き、お金の流れ、そして領域に関わることには手を出さないと心に誓っていました。苦手な分野であることに加え、組織全体を観ることを知らない人から敬遠されてしまうことになるとわかっていましたから。とはいえ、「嫌なこと、苦手なことでも必要なことはやるべき」、と普段から学生に言っていることもあり、逃げられない状況になっていました。難題ばかりですが、より良い教育環境構築のため、イヤイヤながらもしっかりお務めしたいと強く思うようにしています。でもしんどい😭

副校長
（学生・キャリア支援・寮務担当）
神里（かみさと） 志穂子（しほこ）

Q最近のマイブーム

寮務主事の嶽本先生の話しを聞くこと

４年間ずっと趣味「沖縄高専の広報」だったのですが、今年度から学生の皆さんの活動を全力で応援できる仕事を担当することになりました。まだまだ不慣れな事が多くて勉強中ですが、皆さんの学校生活をサポートしていきます。ちょっと誰かに話を聞いて欲しいなという時は、遠慮なく訪ねて来て下さいね。先輩達曰く、レアキャラ（全然捕まらない…）のようですが、学校か学生寮にいますので、見つけて声かけてくれると嬉しいです。

副校長
（研究・産学連携・国際交流担当）
伊東（いとう） 昌章（まさあき）

Q楽しみにしていること

担任をした５期生の同窓会（12月開催予定）に参加すること

皆さん、こんにちは。副校長（研究・産学連携・国際交流担当）の伊東昌章です。普段は生物資源工学科の教員として講義をし、また、生物５年副担任をしています。学生の皆さんにはあまりなじみのない担当かと思いますが、その職務内容は、研究を通した教育、地域企業様等との産学連携活動を通した教育、国際交流を通した教育を推進していくことです。学生の皆さんがグローカル（グローバル×ローカル）の視点を持てるようにサポートしていきます。１年間、どうぞよろしくお願いします。

副校長
（特命・IT 担当）
與那嶺（よなみね） 尚弘（たかひろ）

Q自分だけのマイルール

マイカーはMT

仙台高専と沖縄高専を行き来するようになり３年半が過ぎました。１年目は仙台高専の授業を遠隔で担当していたので、定期試験や研究打合せのため３ヶ月に１度は沖縄と仙台を往復していました。長年住んでいた仙台への出張は日常と非日常が混ざった不思議な経験でした。ようやく旅行の制限が緩和されそうなので、仙台へ旅行に行き、牛タンや海の幸、地酒を楽しみたいとソワソワしています。また、温泉やワイナリー巡りも楽しみです。

1年クラス担任からの挨拶

1年1組担任 小池 寿俊（こいけ かずとし）

Q好きなプロ野球チーム
阪神タイガース（出身は広島です）

1年1組担任の小池寿俊です。1年生の基礎数学Ⅱという科目を担当しています。5年ぶり5回目の1年1組の学級担任ですが、日々思っていたより大変で、最初は不思議でした。ただ1年生の年齢は変わらず、こちらだけ5つ歳を取っているので当然かも知れません。

今年の1年1組にもいろいろなタイプの学生がいますが、違いを認め合って学校生活を過ごしているように見えます。非常に学習意欲の高い学生が何人かおり、彼らに引っ張られて勉強する学生たちも少なくありません。逆に彼らと比べて自分に悩む学生もいるようです。

5年前の1年生と比べると、新型コロナによって学校生活はすっかり変わってしまいました。学生たちや保護者の皆さまにはいろいろとご不便をおかけしております。前期末にクラスで集合写真を撮ったのですが、マスクを外した写真の彼らはとても新鮮でした。早くマスクをせずお互いに表情を見ながら学校生活が過ごせる日が来ることを願っています。

1年2組担任 和多野 大（わたの だい）

Q今年の七夕で祈ったこと
もっと**イケメン**になれますように！

こんにちは、わた～にょです。私、「先生」と呼ばれるのを苦手としているので、みなさんからは「わた～にょ」「わたのさん」「大ちゃん」と呼んでもらっています。

今年度、1学年の学年主任もあわせて務めています。2組はわりと勉強ができるクラスのようで、他クラスと比較して成績いいみたいですね。放課後の講義室では勉強風景はあまり見ないのですが、誰も見ていないところでしっかり勉強こなしているのかなと思います。総じて明るいイメージですね（ちょっと私が煽ってるところあるかな）、みんな個性を発揮してくれていて、私も担任してて楽しいですよ。いろんな個性を認め合える雰囲気は「高専ならでは」かなと思います。スポーツはちょっと苦手としているようですが、総じて足が速いので、潜在能力あるような気がしますね。

後期は高専祭はじめ、いろんなイベントがあります。勉強もぐんと難しくなってきます、真価が求められますね。今後も楽しみに期待しています。私自身も、さらなる高みを目指して、自分を磨いていきます！

1年3組担任 片山 鮎子（かたやま あゆこ）

Q最近観た映画
トップガン・マーヴェリック

こんにちは。1年3組担任の片山です。今年の3組はスポーツが好きな学生とゲームが好きな学生に分かれているようです。どちらも楽しいので学生の本分を逸脱しない程度に全力で楽しんでほしいです。

高専に入って最初の前期が終わりました。入学する前と後で学校に対する印象が随分変わった学生もいることと思います。専門の授業や数学が難しいときは友達と助けあったり教員に聞きに行ったりして、周りに助けを求めましょう。国語もぜひどうぞ！

前期は駆け足で過ぎていきました。最後の週は遠隔授業になってしまいましたが、後期はまた皆さんといっしょに学校生活を過ごしていきたいところです。後期には高専祭があるので対面授業が続くように、きちんとマスクを付けて距離を保ち手洗いうがいをして楽しみに過ごしましょう。先輩達が色々企画を練ってくれているはずです。

1年4組担任 山内 祥之（やまうち よしゆき）

Q好きな食べ物
ペンネ・アラビアータ

こんにちは、1年4組担任の山内です。担当教科は英語です。高専の前は、沖縄の県立高校で教諭として働いていました。

1年4組はかなり明るいクラスです。入学当初は高専の授業のスピードや、寮などの生活のテンポに戸惑うこともあったと思います。しかし友人もでき、高専生活に慣れることで、それぞれの個性を発揮してクラスの中に楽しい雰囲気を作り出しています。また、積極的な学生が多いと感じます。クラスでの係・委員決めの際には、率先して手を挙げてくれる学生が多く、担任としても非常に心強いです。

勉学面でも向上心が見られます。放課後教室に残って勉強している学生もちらほら。レベルの高い高専の授業についていこうと必死に頑張ることは、必ず将来の進路に役立ちます。ぜひ高専で夢を実現して下さい！

2年クラス担任からの挨拶

2年1組担任　島尻（しまじり） 真理子（まりこ）

Q好きなおにぎりの具
あぶらみそ、こんぶ

2年1組担任の島尻です。2年生の皆さんの、スポーツ実技Ⅱを担当しています。

高専に入学して2年目。最初の頃は、恥ずかしくて何を話したらいいのか分からなかった1組の皆さんでしたが、仲間と共に授業や学級活動、休み時間など、多くの時間を共有する中で、少しずつ打ち解け、１人ひとり、笑顔の華が咲く回数が増えてきたと感じています。

2年生までは、異なる分野（学科）、違う夢を目指す仲間と、同じクラスで語らう時間でもあり、この「異種格闘技」?ともいえる沖縄高専2年1組として過ごす時間も、折り返しとなります。

１人ひとりが、ここで過ごす時間を大切にしながら、目指す夢やこれから出逢う夢に向け、笑顔を忘れることなくチャレンジし続ける…そんな皆さんを、のこり半年ではありますが、2年1組担任として、微力ながら応援できればと思っています（もちろん、3年生になっても、卒業しても、応援し続けますよ〜♪）。

2年2組担任　吉居（よしい） 啓輔（けいすけ）

Q最近のマイブーム
早寝早起き

2年2組の担任の吉居です。例年であれば、2年生の数学の授業を担当しているので、自分のクラスの学生達が頑張って数学に取り組む姿を見ることができるのですが、今年度は自分のクラスの授業を担当することができませんでした。そのため、週に1度、LHRでしか会えないのですが、勉強熱心な良いクラスだと思っています。その証拠に、高専祭のクラス出し物が、「数学の世界」になりました。笑

高専祭史上初めての出し物なので、一時はどうなることかと心配しましたが、級長を中心に熱心に取り組んでくれており、数学とゲームをテーマに、学生達からどんなアイディアが出てくるのか今からとても楽しみにしています。今年度も残り半分となりました。コロナに負けずに、沢山の楽しい思い出を作って欲しいと思っています。

2年3組担任　吉井（よしい） りさ

Q最近、感動したのは？
沖縄高専の学生が演奏するChopin（ショパン）の「英雄ポロネーズ」を聴いた時♪

Hello!「2年さわやか3組」にはステキな41名の仲間がいて、「Sunny Smile, Unite & Never give up!」なクラス、略して**SUN：3組**です。

前期、個人面談やLHR（特別活動）で実施した「沖縄高専 Career Log」や「履歴書」作成ではみんなの意外な一面を知ることができ、inspire（インスパイア）されています。また、話し合いや清掃を効率的にするアイディアを出してくれる学生もいて、とても頼もしいです。

学級日誌は芸術（イラスト）的な時もあれば私の知らない世界や「名言」を教えてくれる時もあり、いつも楽しみです。その中から感銘を受けた名言をシェアしますね！

“Any sufficiently advanced **technology** is indistinguishable from **magic**.” Arthur Clarke

「充分に発達した**科学技術**は、**魔法**と見分けが付かない。」

English Skills Ⅱの授業で沖縄高専の英語名や学科名を学んでいますが、全4学科の英訳は最後に「Engineering（工学）」という共通の単語が入ります。高専生は Engineering ≒ **technology** の未来を担っています。

Engineering is **magic!** & Good luck in your **future!!!**

2年4組担任　青木（あおき） 久美（くみ）

Q最近のマイブーム
ジム通い（足の怪我のためにお休み中）。

2年4組担任の青木です。英語関連科目を担当しています。

「学生たちの自主性を育む」というのが私の教育のモットーです。高専は普通高に比べると英語の時間が少なく、自主的に勉強する姿勢が身につかなければ、なかなか力がつきにくいからです。

2年4組には積極的な学生が多く、クラス運営に関しては、級長や副級長、書記を中心に、自主的に動いてくださっています。さすが2年生ですね。皆さんが生き生きと高専祭のことなどを決めている姿を見ることができるLHRの時間を待ち遠しく感じることがあります。ただ、勉強に関して言えば、2年生全体について言えることですが、自分が好きな科目はともかく、それ以外の科目をも自主的に勉強できている学生はまだまだ少ないようです。

ようやくコロナも落ち着いてきたので、学生の皆さんには、思いっきり学生生活をエンジョイするとともに、思いっきり勉強し、今しかない時間を有効に使ってほしいと思います。

皆さんの成長と活躍を期待し、応援しています。

3年クラス担任からの挨拶

機械システム工学科　武村（たけむら） 史朗（ふみあき）

家事でできること
料理、洗濯、食器洗い。掃除は苦手

３年から学科クラス編成、専門科目が増え、人間関係が変化し、戸惑いも多いかと思います。人に頼りながらでいいです、できることを一つずつ増やしてもらえるといいですねぇ。

情報通信システム工学科　宮城（みやぎ） 桂（けい）

最近のマイブーム
専門外ではあるが、ヒトの脳の認知機能に興味を持っている

これから高専祭（10月）や研修旅行（12月）、体育祭（12月）とイベントが続きます。これらの活動を通して、責任感や連帯感を高め、仕事や企業、業界への理解を深化させて欲しいと思います。

メディア情報工学科　當間（とうま） 栄作（えいさく）

最近のマイブーム
ノンアルコールビール

3学年から専門科目が増え内容も高度になります。勉強も大事ですが同時に、卒業後の進路に向けて考え、準備していきましょう。

生物資源工学科　田邊（たなべ） 俊朗（としあき）

最近のマイブーム
遮光（日傘、帽子、アームカバー）

健康ってありがたいですね。体調を崩しやすい時期でもあります。しっかりとご飯を食べ、よく寝ましょう！

4年クラス担任からの挨拶

機械システム工学科　比嘉（ひが） 吉一（よしかず）

最近のマイブーム
「旅」系YouTube動画の閲覧

「様式美」ってKeywordをご存じですか？「形式美」の誤用から生まれたKeywordらしいのですが、そんな「様式美」HR&HMを愛してやみません。

情報通信システム工学科　高良（たから） 秀彦（ひでひこ）

最近のマイブーム
フルーツティー

将来へ向けて一歩ずつ前に進んでください。そのためにも、やるべきことをやってからやりたいことをしましょう。

メディア情報工学科　佐藤（さとう） 尚（たかし）

好きなこと
UMPCと戯れる・RNNやRLの能力限界の追究・猫に顔を埋める・冬キャンプ・nanaで歌う

「野望」を持ってください。大それた叶いそうにない望みであっても、自ら決めた野望は人生の「核」となり、突き進むための原動力になります。

生物資源工学科　玉城（たまき） 康智（やすとも）

最近のマイブーム
毎朝のジョギング

4年生はインターンシップを通して社会人になるための経験と自覚を持つ時期となります。
皆さんの積極的な活動に期待します。

5年クラス担任からの挨拶

機械システム工学科　眞喜志（まきし） 隆（たかし）

最近のマイブーム
ポケモンGO

この数年は、コロナの影響で学修だけではなく進路選択にも影響が出ています。厳しい状況はまだ続きますが、悔いのない学生生活を送ってください。

情報通信システム工学科　中平（なかひら） 勝也（かつや）

最近のマイブーム
カイトサーフィン

皆さんの担任になってから、2年間が過ぎました。当初からコロナ禍だったため、ずっとマスクを通した付き合いです。卒業までは、マスクを外して皆さんと心置きなく過ごしてみたいですね。進学・就職活動や卒研など難しい時期を過ごしてますが皆さん応援してますよ！

メディア情報工学科　與那嶺（よなみね） 尚弘（たかひろ）

最近のマイブーム
週末のウォーキング・週末の料理

本科の最終学年となりました。コロナ禍に負けず、卒業までの半年をより充実して過ごして欲しいと願います。

生物資源工学科　萩野（はぎの） 航（わたる）

今までにしたアルバイト
家庭教師、物流倉庫ピッキング、コンテナ荷降ろし、コールセンター、エアコン清掃、建売住宅の受付、牛の搾乳、地平線まで続くイモ掘り、劇団四季の裏方

あっというまに5年生。人生いろいろ。先が見えない世の中ですから、「流されず、逆らわず」柳の木のように生きていきましょう。

専攻科長からの挨拶

専攻科長　高良（たから） 秀彦（ひでひこ）

最近のマイブーム
ウォーキング（つい最近からですが）

専攻科1年生の前期では、PBL授業として「創造システム工学実験」を行いました。今年は、地域の課題解決をテーマとして、3チームがIT技術や分析力等を駆使して取り組みました。「麦芽粕、乾燥酵母を活用した商品開発と地域活性化」では、名護こども食堂と連携し、廃棄されている地域資源を活用して子ども達が喜んで食べる商品の開発を行いました。「カムカムプロジェクト」は、むし歯が多い子ども達に楽しみながら口腔健康意識を高めるために、知識をつけつつ咀嚼運動を促進させるアプリを作成しました。「75beer ～ winter ～」は、名護市の街を活性化させることを目的に、ビールの街名護をアピールする情報発信ツール作成やビアカクテル試作、観光ウォーキングコースの試案、フォトスポットの作成を行いました。これらの取り組みは、新聞各紙やテレビでも取り上げられました。

2年生は、学位授与機構の学修総まとめ科目である「特別研究Ⅱ」に取り組んでいます。特別研究においては、課題解決のための研究計画を立案・修正し、自主的に研究を遂行し、これまで学んだ知識を総合し問題解決ができることが求められます。10月初めに、立案した研究計画書を学位授与機構に申請しました。1月に特別研究発表会および学生授与機構への成果提出が予定されており、研究目標の達成へ向けて活発に研究を実施しています。

今年度は4月から対面授業が継続していて、専攻科生が教員や同僚とディスカッションをしたり、勉強や実験等に励む姿を多く見かけます。これまでコロナ過で工夫してきたオンライン手段も併用することで、従来よりも効果的な学習や研究が実現できることを期待しています。

課外活動の様子

楽器部

楽器部は小編成（最大25名程度）の管打楽器バンドで、吹奏楽を基本としてジャズ・ポップスからクラシックまで幅広いジャンルの楽曲の合奏を楽しんでいます。前身である吹奏楽部は１期生が2004年度に設立しており本校で最も歴史ある学生団体のひとつです。演奏の機会は、沖縄県吹奏楽コンクールの他、校内外でのコンサートが各数回および式典用行進曲の録音が毎年恒例となっています。コロナ禍の影響で練習・舞台演奏の機会が減り部員も減ってしまったため2022年度はコンクール出場をあきらめてJAZZを中心に練習しながら2023年度のコンクールに向けて体制を整えています。指導は中学・高校の音楽科の教諭免許を有する教員１名の他２名の教員（合計３名の顧問教員）が兼務で担当しています。

コロナ禍前の校内演奏会の様子（2019 年７月）

♪部員紹介♪

（2022 年 8 月 20 日時点の部員数 11 名）

メディア情報工学科３年　砂川（すなかわ） 虎南（こなん）

部長を務めています、担当しているパートはTu.（チューバ）です。私の目標は、部長として明るい雰囲気の部活にしたいと心がけることです。私たち楽器部はここ数年で、度重なる遠隔授業を挟みながらも何回かオンラインコンサートを開き、昨年度は県の吹奏楽コンクールに出演するなど、めげずに活動を続けています。音楽に興味があれば、ぜひ私たちと一緒に演奏してみませんか。

生物資源工学科２年　稲嶺（いなみね） 帆夏（ほのか）

担当はトランペットです。本校楽器部は、中学のように厳しい雰囲気はなく、純粋に吹奏楽を楽しめるような雰囲気があると感じています。できなかったら怒られるとかはありません。どうすればできるようになるか、できなかった場合どうするかを一緒に考えてくれます。ですから、経験者でも未経験者でも楽しみながら上達していけると思います。

生物資源工学科２年　松竹（まつたけ） 舵一（たいち）

パーカッション（打楽器）を担当しています。楽器部は優しい人、面白い人などがいて明るく楽しい部活です。たとえ、楽譜が読めなくても失敗をしても先生・先輩・友達が助けてくれるので、たくさんの楽しさと技術を知ることができ、「経験のある人もない人も関係なく１つになれる」というのが１番良いところだと感じています。

課外活動の様子

水泳部

沖縄高専水泳部は、７月２日に熊本市で開催されました、第59回九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会（高専大会）の水泳競技に参加・出場いたしました。

大会直前に２年生･３年生が登校停止となり、思うような練習が行えず、一部の選手は調整さえもままならない状態での出場となりました。昨年度・一昨年度は地区高専大会が中止に追い込まれたため、それでも大会が行われる・出場できるだけ、今年度は恵まれていたと思います。

短い活動時間と活動期間の中でも、技術の修得に特化し、効率性を突き詰めた練習を重ね、大会では本校の多くの選手が自己記録を更新し、決勝で入賞を果たしました。その中で、飯田日和さん（３年メディア）･比嘉徠日さん（１年情報）･藤木喜仁さん（１年生物）の３名が、９月３・４日に愛媛県松山市で開催される全国高等専門学校体育大会への出場権を獲得いたしました。

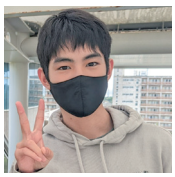
沖縄高専水泳部の全国高専大会の出場権獲得は、2011年度以来10年連続10回目（2020年度は中止）となります。全国大会の競技力は高く、いまだ本校選手の入賞はありませんが、先行きは明るく思えます。今年度は多くの１年生が入部しました。例年になく活発で雰囲気が良く、高専の小さなプールで、競技力に関係なく、技術と体力・競技心理面の向上を求めて、活動しています。全国大会の表彰台で沖縄高専の選手がメダルをかけるときを、楽しみにしていきたく思います。

第59回（令和４年度）九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会水泳競技結果（決勝レース入賞のみ）

氏　　名	競　技　結　果
飯田日和（3-mi）	女子100m背泳ぎ　決勝２位　全国高専大会出場権獲得
比嘉徠日（1-ic /1-4）	男子100m背泳ぎ　決勝２位　全国高専大会出場権獲得
藤木喜仁（1-br /1-1）	男子100m自由形　決勝３位　全国高専大会出場権獲得
飯田日和（3-mi）	女子100m自由形　決勝４位
比嘉徠日（1-ic /1-4）	男子200m自由形　決勝５位
比嘉心輝（2-mi /2-3）	男子100m平泳ぎ　決勝６位
中村恵（1-ic /1-3）	女子50m自由形　決勝７位
飯田日和（3-mi）･糸数由南（3-br） 友寄遥（1-br /1-3）･中村恵（1-ic /1-3）	沖縄高専　女子４×50mリレー　決勝５位
山川創大（5-ms）･比嘉心輝（2-mi /2-3） 比嘉徠日（1-ic /1-4）･藤木喜仁（1-br /1-1）	沖縄高専　男子４×100mリレー　決勝７位
関屋優太（3-ms）･比嘉心輝（2-mi /2-3）･ 山川創大（5-ms）･久高盛弥（4-mi）	沖縄高専　男子４×100mメドレーリレー　決勝８位

水泳部顧問　和多野大（総合科学科）（九州沖縄地区高専水泳競技専門部代表）
星野恵里子（総合科学科）･金城篤史（メディア情報工学科）･宮城桂（情報通信システム工学科）

1年生クラス紹介・入学してからの感想



1組

メディア情報工学科
照屋（てるや） 陽輝（はるき）

１年１組メディア情報工学科の照屋陽輝です。一組は、最初の自己紹介ではっちゃけてくれる人がいたため、皆の緊張がほぐれてすぐに仲良くなれました。高専には行動とか言動がちょっとやばい人が多く在籍しているのですが、話しかけてみると意外と面白い人だったりして仲良くなれます。

１組は某高専系 YouTuber が言うほど男女比は悪くなく、８：２くらいでした。友達によると県立の工業高校には一人も女子がいないクラスがあると聞いたのでまだましだと思います。ちなみに、コスプレが日常茶飯事というのは本当でした。五月の時点で女装してくる猛者までいたので、日常がとても面白いです。あと、実はもうすでに一人分席が空きました。

高専は人間関係が難しかったり、数学出来る人のレベルが違いすぎたり、勉強できる人とできない人の差が大きく、ほぼ全員が一回は病むと思います。それでも高専生は心優しい人がたくさんいるので慰めてくれたりするので挫けずに頑張ってこられました。

高専は数学の授業が二種類あり、基礎数学Ⅰと基礎数学Ⅱがあります。基礎数学Ⅰは普通校でも学ぶような数Ⅰの範囲なのですが、基礎数学Ⅱは普通校の二年生で学ぶような数Ⅱの範囲です。これを同時並行でやります。定期試験も数学は二科目あります。数学が好きな自分にとっては友達に数学を教えることができるし、自分は数学の範囲を早く進めることができるのでとてもいい環境です。

2組

機械システム工学科
新垣（あらかき） 仁飛（ひと）

一年二組機械システム工学科の新垣仁飛と申します。級長として一年二組を引っ張って(?)ます。自分は高専で驚いたことが二つあります。

一つ目は一年目から専門的な知識をつけることになるということです。高専では学科別の講義が一学年では週に二回あり、機械ではミリメートルの世界の製図と、これぞ機械科！と言いたくなるような溶接や、金属加工等の授業があり、高専の凄さというものを身に染みて実感しました。生物科では、プログラミングや、バイオテクノロジー的な実験を、メディア情報、情報通信科ではプログラミングを学習していると聞きました。どれもとても魅力的ですね。

二つ目は、校風がとても自由ということです。髪染めやピアスはもちろん、コスプレで登校する学生も居ました。そして全く動じない先生にも驚かされました(笑) ですが、「自由」＝「自己責任」という事でもあるので、とらえようによってはさらに気を引き締めないといけないかもしれません。高専生活に慣れてきて、少し気のゆるみも出てくる時期だと思うので、また引き締めないといけないと思いました。

キュートでトム・クルーズ(?)な和多野先生、ワードセンスが独特で面白い星野先生の二人の先生と共に後期も突き進んでいこうと思います！

3組

情報通信システム工学科
中村（なかむら） 恵（めぐみ）

初めまして。沖縄工業高等専門学校の情報通信システム工学科、中村恵です。メディア情報工学科はソフトウェアを中心に勉強していきますが、情報通信システム工学科では、ハードウェアを中心に勉強していきます。情報通信システム工学科の１年生の前期の授業では、計算機工学Ⅰとプログラミング基礎Ⅰを学びます。計算機工学Ⅰでは、ハードウェアを中心にものの仕組みや二進数、マイコン製作などを行います。プログラミング基礎Ⅰでは、C 言語にてコンピューター内での計算を行うためのプログラムを学びます。最初の方は専門知識が全く無くて、ついていけるか心配になると思いますが、目的があり探求心があればどの授業も楽しく学べることができます。また、どちらの授業も友達と話し合いながら課題を進めたり、先生に質問して理解を深めていくような授業です。そのため、授業についていけなくなるなどの心配はいりません。私も専門知識0で入学してきましたが、先生に質問したり友達に説明したりしていくと自然に授業内容が身についていきました。１年生と２年生は全ての学科の混合のクラスであり、専門科目の授業の時のみクラスが変わります。情報通信システム工学科のクラスでは、それぞれが好きなことを自由にしている雰囲気です。プログラミングの勉強を自分でどんどん進めている人もいれば、自分で作ったプログラムで遊んでいる人もいます。このように、情報通信システム工学科では自由な雰囲気で授業を楽しく受けることができます。

4組

生物資源工学科
梅北（うめきた） 遥（はるか）

私たち１年４組は担任の山内先生、副担任のカーマン先生、そして学生計 42 名で構成されたクラスです。１年４組は和やかな人や、面白い人が多く、他クラスからも周りからも自然と人が集まってくるクラスです。

なので、休み時間では友達同士で集まってゲームをしたり、おしゃべりをしたりといつもにぎわっています。そこで担任の山内先生には講義室はスタバのような気持ちの良い雰囲気を目指しなさいと言われましたが、もう少しです。１年生終わるころにはスタバになっていると思います。

そんな４組の良いところは、助け合いです。小テストがある日に、わからない問題がある人は積極的に近くの人に質問したり、友達とクイズを出し合いながら勉強したりと、助け合うことができています。しかし、友達同士では沢山交流しているのですが、話し合いの場になると少し消極的になることもあります。今後とも積極性を高めていきたいです。

これから様々な行事が控えているので、話し合いが重要になってきます。１年４組の良さである“助け合い”と話し合いを活かして、楽しい行事にしていきたいです。

2年生クラスの様子・活動紹介

1組

生物資源工学科
沼崎（ぬまさき） 蒼（あお）

２年１組生物資源工学科の沼崎蒼です。
私たちのクラスは 42 人が毎日笑顔で元気よく生活しています。
新型コロナウイルスがまだ流行っているので、クラスのみんなで何かをするようなことができず、最初のうちは一年の時の仲が良い人同士と関わっていることが多い雰囲気がありましたが、4、5か月過ごしてきて前期が終わる頃には、クラス全体がまとまってきていると感じました。
みんな、個性が豊かなので誰とでも仲が良く、何か困ったことがあれば助け合い、一人ひとりが持つ考えを出し合い共有することができるクラスです。良い意味で変わっている人が多いので休み時間など男女関係なく話しています。担任の島尻先生は、クラスの雰囲気を明るくしてくれます。
とても話しやすく、悩み事や困っていることなど解決できるようにアドバイスをくれる良い先生です。
後期になると、高専祭が待っています。２年での初めてのクラスのみんなが関わっている行事なので考えていることが違い、もめることがもしかしたらあるかもしれませんが、みんなで雰囲気を良くして支えあい、少しでもみんなの思い出作りをできたらいいなと思います。

2組

情報通信システム工学科
石丸（いしまる） 心行（こなん）

２年２組の前期級長を務めました。石丸心行です。
２組は協力的で、メリハリのあるクラスです。
授業中、先生に質問を投げられても、黙り込んだり、「わかりません。」で済ましたりせず、しっかり自分の意見を述べることができる人が多く、難しいところは友達同士でフォローし合う節が多くみられます。
後期の高専祭の出し物についての話し合いの時も男女問わず、たくさんの案や意見が出てきたので、スムーズに決めることができました。
担任の吉居啓輔先生の溢れんばかりの清潔感は天下一品。
副担任の山本寛先生は、授業の合間に多少の雑談を入れてくれる、とても面白い先生です。
両先生とも、学生目線で話をしてくれるので、非常に関わりやすいです。
前期は、分け隔てなく話せるクラスではなかったので、後期は高専祭などの行事を通してたくさんのクラスメイトと交流をし、学年で一番団結力のあるクラスにしていきたいです。
また、今年度の高専祭のクラス出し物は現状、「数学の世界」という、今までにない題材を予定しています。入場者の皆さんを数学に触れあいながら楽しませますので是非いらしてください。お待ちしてます。

3組

機械システム工学科
甲本（こうもと） 志結（しゆう）

真っすぐ正直な英語担当の吉井りさ先生と、一言アドバイスで人生について説いてくれる数学担当成田誠先生、そして 40 名余りの個性で構成された２年３組書記の甲本志結です。
賑やかなのは勿論のこと、それぞれが特徴的な表現力を持っているのが、上記２名の先生方が率いる現２年３組。お互いの距離感は保ちつつ、対話をおろそかにしない、そんなクラスで作り上げる１年がどういったものになるのか、半分終わった今尚楽しみです。
私個人としては、少しずつ平時通りの行事や講義形態を取り戻しつつある高専で、それを満喫しない手はないと部活に創造研究、航空技術者プログラムなど、様々な活動に首を突っ込んでは自分の首を絞める毎日を送っています。特に高専に来た理由とも言える高専ロボコンでは、昨年の全国大会出場（８年ぶり）を皮切りに、チームを増やし更に上を目指せるよう新たな育成や個々の能力の底上げに奮迅しています。自らが育成されながら同時に後輩の育成もするといった、受け継いでいくためのプレッシャーはあるものの、自身の考えや学び、積み立てたものが実直に形として現れる、“ 好きなことを体現 ” できるこの委員会を通して、全力でここでの生活を謳歌している途中です。まだ２年生、先は長いので自分の興味を突き詰め、向き合っていきます。
以上、２年３組書記からでした！

4組

小濱（こはま） 彩夏（あやか） 生物資源工学科
梅北（うめきた） 新菜（にいな） メディア情報工学科
金城（きんじょう） 小遥（こはる） メディア情報工学科

私たち２年４組は、計 41 名の１人１人が髪色も性格も個性豊かなクラスです。
はじめは、個々でのバラつきが多く見られましたが、授業でのグループ活動等を通して、今ではみんなで何事も楽しみ、盛り上げることができるクラスになりました。
担任が青木先生（通称：クーミン）、副担任が下郡先生（通称：下郡）という異色コンビと共に、何をするにも、楽しいことには全員で全力を注ぎながら、わいわい仲良く過ごしています。
今年の高専祭では全員が初めての屋台となりますが、積極的に案を出し合い、それぞれが持つイメージを共有しながら、たくさんの期待と楽しみを持って企画を進めています。
そして高専祭当日では、みんなでたくさんの人の笑顔を見るために頑張り、来てくださった方々の記憶に残るような最高で最強の高専祭にできたらいいなと思います。クーミン組ごっつええ感じ！！

3年生クラスの様子・活動紹介

機械システム工学科

宮里 京汰（みやざと けいた）

令和４年度の前期が終了し、はやくも高専生活の半分が終わりました。３年機械システム工学科の級長を務める宮里京汰です。

今年もコロナ禍となり、学級・学年の登校停止・遠隔授業の期間もありましたが、皆が元気よく学業に励むことができています。１・２年生の時は遠隔授業が多く、本来開催されるはずだった体育祭や高専祭等の一部のイベントがなくなってしまったことは残念でした。２年生までは学科混合だったクラスも、３年生では学科別に分かれることになり、講義内容もより専門的になっています。例として、製図系授業や「創造演習」だけでなく、材料の性質変化や物体の変形計算と言った化学や数学の知識を多く使っていきます。クラスにはダンスが好きな学生、車が好きな学生等、様々な学生がおり、自分自身の好きなものを語れる友達も見つけられました。今年度は今まで不完全燃焼だった高専生活を楽しみながら、将来への目標に向けてクラス一同全力で精進していきます！

情報通信システム工学科

藤波 太陽（ふじなみ たいよう）

皆さんこんにちは。情報通信システム工学科３年の藤波太陽です。皆さんに、我らが情報通信システム工学科３年を紹介させていただきます。情報科３年は個性豊かで優しい人が集まっています。皆何かに秀でていたり、他の人とは一風変わった趣味を持っていたりします。例えば、プログラミングが得意だったり、音響機器に詳しかったり、電車の路線に詳しかったりします。そんな人たちですが全員優しい心を持っており、初めて話す人や普段あまり話さない人と話すときも、誰にでも優しく話すことができます。よって、グループ活動等でいつも仲良くしている人ではない人同士がグループになったとしても誰も話さないような状況にならずに皆で仲良く活動できる点はとても良いところだと思います。さらに、３年情報科の人はチャレンジ精神がとても旺盛で、１年生や２年生のころから社会実装などのコンテストに挑戦して賞をとったり、IT パスポートのような資格試験にも挑戦したりする人が多数います。このような活動だけでなく、普段の勉強でも一般科目では他学科よりも高い平均点をとったり、難しい専門科目でもクラス内で教えあったりして頑張っている素晴らしいクラスです。

メディア情報工学科

砂川 虎南（すなかわ こなん）

３年メディア情報工学科の級長を務めています、砂川虎南です。

私たちのクラスは男子 27 名、女子 16 名で男子が若干多いですが、男女の壁もそんなに高くはなく、どんな授業でも科目の先生を含めて笑いが生まれるほど、平和でみんなが仲良く学校生活を過ごしています。

そんな私たちの HR 教室では不思議なことに、４月からクリスマスツリーが飾られています。この文を読んで「どうして?」となった方が大半だと思います。私も疑問です。掃除用具のロッカーの中になぜか入っていたクリスマスツリーは通称「メディアの木」と呼ばれており、７月にはオリジナルで短冊を作ってみんなの願い事を飾ったりもしました。

３年生になり、専門科目も１年２年の時と比べて格段に科目数が増え、より専門的な内容に深く入るため、いよいよ勉強が難しくなってきたと感じます。今年からはメディアの３本の柱にある「ネットワーク」も入ってきて学ぶこともとても多くなりましたが、どの科目も非常に為になることの連続です。進級の鬼門となる３年生ですが、みんなで協力して進級したいと思います。

後期には研修旅行や高専祭、体育祭も控えていることから、３年メディアのみんながもっと打ち解けあって、より一層クラスの仲が深まるように級長としてサポートしていきます。３年メディアのみんな楽しみにしててね！

生物資源工学科

山城 鈴華（やましろ りんか）

私たち生物資源工学科は男子 23 名、女子 20 名で学科担任田邊俊朗先生と、副担任磯村尚子先生で優しい雰囲気に包まれています。

昨年度まではコロナ禍による遠隔授業のため生物の特色でもある実験が行いにくい状況でした。今年度から実験科目が増え、対面授業のおかげでたくさんの実験を行うことができました。同時に小テストやレポートの量が増え課題の提出期限に追われる日が続いたりもしました。個人やグループでの PBL 発表などの機会もあり、難しくて大変な分、新たなことに挑戦することができる環境があることにありがたさを感じ、充実感を得ることができています。

１、２年生でクラスメイトと顔を合わせる機会が少なかったため、仲良くなれるか不安もありましたが、LHR でドッジボールをしたり授業でのグループ学習が増えたりと、徐々にクラスメイトと交流が深まってきています。最近は男女関係なく話をするようになりクラスが賑わっています。

今年度の高専祭は有観客開催での方向で準備が進み、体育祭や研修旅行の予定もあり行事が多く、期待に胸を膨らませています。高専生活も折り目を迎え、これからもっと成長できるように授業や創造研究など更なる努力を重ねていきたいです。

学生会より

学生会会長
情報通信システム工学科４年
備瀬（びせ） 哲平（てっぺい）

令和４年度学生会会長を務めております、情報通信システム工学科４年の備瀬哲平です。今年度の学生会では、新型コロナウイルスの影響により制限されている部活動やイベントの再活発を目標に活動しています。学生がより楽しめる環境作りを目指しています。

実施したものや企画しているものをいくつか紹介します。

イベントなどの運営を担当している総務局では、放課後学習会を開催しました。今回は４年生の先輩たちが講師として、１、２年生をメインに授業で分からなかった部分を教えてもらいました。優しい先輩たちが分からないところを教えてくれるので、勉強でつまずいた時も安心です！！

前期は実施できませんでしたが、四季球技大会を企画しています。このイベントは、四季ごとに異なる球技で対決し、それらの総合ポイントを争う大会です。昨年度は、他学年やクラスでの交流が少なかったので、このイベントにより学生同士の交流が増える良い機会だと考えています。

部活動などの課外活動は、新型コロナウイルスの影響により、活動時間が以前に比べ短くなっており、朝練を行うことができていません。学生会では、できるだけ元の日程に戻し、朝練の再開を目指しています。課外活動は学生の楽しみの一つであり、学生生活の中でも重要なものだと考えているので、目標実現に向け頑張っています。

学生会では、学生に充実した学生生活を送ってもらえるように、イベントの開催や課外活動の環境改善に向けて頑張っていきます。

最後までお読みいただきありがとうございます。

学生会一同

４月	５月	６月	７月	８月	９月
	部活紹介		放課後学習会 校内清掃		

10月	11月	12月	１月	２月	３月
高専祭	秋季球技大会 校内清掃	体育祭		冬季球技大会 校内清掃	

寮生会より

新たな年度が始まりようやく半期が終わろうとしています。今年度もコロナの勢いは止まらず新しい波が来るなど大変な事態となっています。そんな中でも私達寮生会は寮をより良くして行くために、寮生会執行部をはじめとする様々な委員会が関わって日々寮を運営しています。

今年は2年前からのコロナで色々なことが制限されていく中、各委員会での仕事の引継ぎや行事の開催、日々の業務などの方針・取り決めが曖昧になっていると実感しています。それにより寮を良くするため今まで積み上げてきたものが来年にはなくなってしまうことを考え、私たちは前期中に各委員会の仕事内容をリストアップした上で各委員会との点数の妥当性や仕事の合理性を考慮するなどして新しい割り振りや配点を考え、現在担当教員と検討しています。

また今年から新しく赴任した校長先生の計らいで学生と教員の間を埋めるための意見交換会も行われました。そこでは自分達の困っていることや良くしていきたい事を述べ、それに対してアドバイス・意見をもらうなど、これからの定期開催で更なる改良ならぬ改寮が出来ると期待しています。

後期では前期で募集したアンケートなどを元に寮全体をより良くしていくために、寮生総会を通してコロナで行われなくなった“寮祭”という寮生全体で行われるイベントや、使えなくなったラウンジなど、試行錯誤しながら皆が不満なく過ごせる寮生活を目指して有意義な活動をしていきたいと思いますので、これからも沖縄高専学生寮をよろしくお願いします。

年間の活動計画表

4月	入学式、開寮式	10月	避難訓練、月例清掃
5月	新入生歓迎会、特例清掃、月例清掃	11月	月例清掃
6月	特例清掃、寮見学	12月	閉寮前大清掃、閉寮式
7月	オープンキャンパス、寮見学ツアー	1月	開寮式、月例清掃、寮祭
8月	閉寮式、閉寮前大清掃	2月	閉寮前大清掃、閉寮式
9月	開寮式、寮見学ツアー	3月	入学説明会

※コロナ禍より変更有

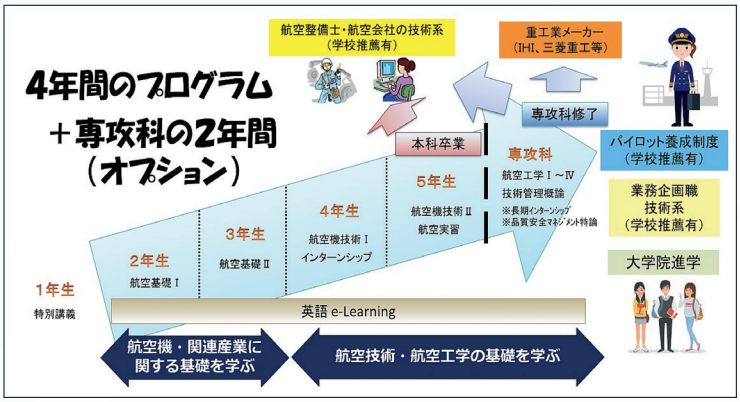
航空技術者プログラム紹介

谷藤（たにふじ） 正一（しょういち）
航空人材育成委員会
委員長

1. 教育概要及び昨年度の就職実績を紹介

これまで航空技術者プログラムは、本科４・５年生と専攻科１・２年生の４年間のプログラムで“航空機整備”に重点を置いた内容となっていましたが、今年度から多様化する航空業界および学生のニーズに応えるべく航空関連産業分野を広く学ぶことができるカリキュラムとして再編しました。本科２・３年生で「航空機および関連産業に関する基礎」を学び、４・５年生では「航空技術や航空工学の基礎」を学ぶことができるプログラムとなっています。また、高専の授業にも慣れてきた本科１年生も、後期からは日本トランスオーシャン航空（JTA）派遣講師による講義を受講することができます。今年度からは、全国の４高専と、航空関連産業である航空会社や重工業メーカー（６社）および国土交通省・経済産業省・文部科学省の産学官が連携したオールジャパン体制での航空機製造・整備技術者の育成をする取り組みである『航空産業人財育成プログラム』による教材の提供も始まり、航空機を取り巻く関連産業の様々な分野を学ぶことができるようになりました。このような様々な連携によって、これまで以上に幅広い学修はもちろんのこと、より多くの進路を選択することができるようになっています。

また、さらに勉強したい学生のために、専攻科の２年間の課程も継続して実施します。本科のプログラムを修了して、この専攻科までのプログラムを継続した学生は、琉球エアーコミューター（RAC）のパイロット養成制度である「運航乗務員候補者養成（奨学金貸与）制度」や、JTAの「業務企画職（技術系）」に推薦することができます。



航空技術者プログラムの概要

特別講義の様子

航空関連産業は、力学、材料、流体、熱、電気・電子、情報処理などの多くの先端技術が結集した産業領域であり、官民を挙げて自動車に次ぐ基幹産業への期待も高まっており、高専の様々な実践的教育が貢献できる分野でもあります。沖縄県においても島嶼地域の地理的環境にあって、航空関連分野が新たなリーディング産業として期待されています。

昨年度も厳しいコロナ禍にありましたが、本科・専攻科を合わせて２名が航空関連企業に就職し、５年生の受講者のうち８割が専攻科に進学して航空関連産業や大学院を目指しています。

地域連携研究推進センター活動紹介

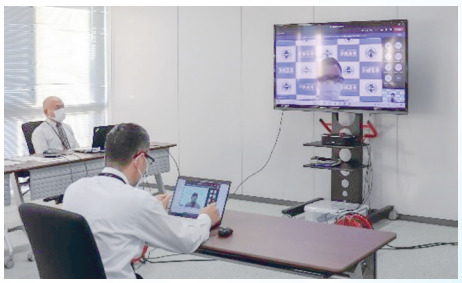
武村（たけむら） 史朗（ふみあき）
地域連携研究推進センター長

本校では、地域連携研究推進センターを設置し、本校の有する人的資源、知的資産、施設を活用して、地域社会との緊密な連携や交流を推進することにより、地域社会における人材の育成、科学の発展、技術開発及び産業の活性化に貢献するとともに、地域課題の解決を支援する活動を行っています。主な活動内容として、毎月定例の技術相談会の開催、沖縄高専フォーラム等の実施、共同・受託研究、技術相談（随時）の受け入れを行っております。さらに地域の各種イベントへ出展し、本校の教育研究内容を発信しています。

昨年度の実績について

令和３年12月に『未来を見据えた沖縄高専の次世代人材育成』をテーマに、「第17回沖縄高専フォーラム」をオンラインにて開催しました。フォーラムでは、（一社）沖縄ITイノベーション戦略センター兼村光氏による「DXの本質－社会で求められるDXの重要性や取り組み方－」の講演および本校生物資源工学科池松真也教授、情報通信システム工学科中平勝也准教授による本校の教育活動についての講演を行いました。また、コロナ禍においても学びを止めることなく研究を継続した専攻科学生４名による研究発表を行いました。

専攻科学生の研究発表



地域連携研究推進センター長による閉会挨拶

産学連携協力会との活動実績

沖縄県内の経済・産業界を中心に、本校の教育・研究活動を側面から支援するとともに、産学間の共同研究を推進し、産業振興に寄与することを目的に「沖縄工業高等専門学校産学連携協力会」を設置しています。現在、県内外の112の企業、団体会員及び25の個人会員で組織しています。

令和３年11月30日、12月１日には産学連携協力会員企業23社が、「沖縄工業高等専門学校オンライン業界研究会」に参加しました。本研究会は学生のキャリア教育の一環として開催し、参加企業による業界、会社概要等の説明を通して、学生の職業意識の高揚に資するとともに、各業界、企業の理解促進につながりました。

卒業生の活躍の様子

大城 万由花（おおしろ まゆか） 沖縄高専14期生 メディア情報工学科 卒業生

沖縄高専14期メディア卒業生の大城万由花です。私は2022年3月に高専を卒業後、凸版印刷株式会社に就職し現在東京都内でシステム開発の業務に就いています。凸版印刷は新入社員のほとんどが大卒または院卒で、その中で遅れをとってしまわないか不安でした。しかし、入社してからの新人研修や業務に携わっていく中で、高専で学んだことが強い武器だと感じることが多かったです。プログラムの実装やデバッグ、データベースを使った業務等を頼まれた時、ほとんどの基礎を高専で学んでいたため有利な状態で仕事を進めることができました。私は苦手教科も多かったですが、理解が難しくてもどんな専門用語があるか覚えているだけで質問や情報収集のしやすさが格段に違うと感じました。情報系の学科にいると周りのPCスキルが高く埋もれがちですが、高専5年間で培った技術は社会の中ではかなりの強みになっていると思います。

現在私は東京都内で生活していますが、首都圏に就職・進学した友人が多く今でもよく遊びに出かけたりしています。高専からの進路だと県外になる人がほとんどですが、東京や大阪などの大都市圏への進路が多く意外と高専時代の友人とも会えるというのは嬉しい点かなと思います。東京だと鉄道やバスなど非常に便利で、ふと気が向いた時に遠出できるのでよく楽しんでいます。金曜日の仕事終わりに特急に乗って長野に遊びに行ったりもしました。仕事はまだまだ覚えることも多く大変ですが、それ以上に生活面での楽しみも多く充実した日々を送っています。皆さんが卒業後どんな進路に進みどんな生活をするのか、イメージの参考になればと思います。

長野県上高地の風景（2022年9月筆者撮影）

山城 開夢（やましろ かいむ） 沖縄高専13期生 機械システム工学科 卒業生

こんにちは。

沖縄高専13期生の山城開夢です。

私は機械システム工学科を卒業後2021年4月に日本精工株式会社（NSK）に入社しました。NSKは自動車から電化製品などあらゆるものに使われているベアリングの国内シェアNo.1のメーカーです。

学生時代から特にやりたいことがなかった私は「とりあえず規模の大きな会社に入りたい」というざっくりとした理由でNSKを選びました。

入社後は設備の保全を行う部署に配属され、生産設備の故障対応や新規設備立ち上げなど生産効率向上に向けた取り組みを行っています。

入社前は保全と聞くと地味で単調なイメージがありましたが、日々発生する突発的なトラブルにスピード感をもった対応が求められ、自分の目と知識・経験が問われる難しくやりがいのある仕事だと今は感じています。

会社では機械専攻だとしても電気や材料なども基礎的な知識は持っている前提で話が進むので、在学生の皆さんは今のうちにしっかり基礎を押さえておくといいと思います。

また、周囲の人と積極的にコミュニケーションをとることも大切です。

私の場合は、「この分野はこの人が一番詳しく教えてくれる!」という人を早い時期に把握できたことが仕事をする上で助けになりました。

これからも沖縄高専の名に恥じないよう技術者として励んでいきたいと思います。

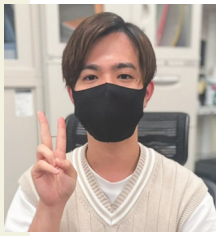
前津 達人（まえつ たつと） 沖縄高専2期生 機械システム工学科 卒業生

機械システム工学科2期卒業生の前津達人です。

現在、私はスマホアプリなどのシステム会社の代表取締役を務めています。在学中からITの分野に興味を持ち、機械科でありながら独学でプログラミングなどを勉強していました。社会に出てからは2012年に地元沖縄県のIT企業で勤務した後、2017年3月に株式会社バックムーンを設立しました。ここでは、CTOとしてモバイル/Webアプリケーションの開発の全体を管理し、自身も開発メンバーとしてアプリを制作しております。弊社はスマホを中心とした新しいサービスの構築を得意としていて、スタートアップなどの0から1を作り出す会社と一緒に頑張っています。

学生時代には機械という分野を一生懸命学んで来ましたが、まったく別の分野で働いています。しかしながら、高専という場所は知識以上に学ぶ力を養う場所だと感じており、そのレベルも高等教育機関中でもトップクラスだと感じています。社会に出ると常に学ぶ事が多く、新しい技術を常に学び自分のものとしていかなければなりません。卒業して思うのは、学ぶ力が今の自分をつくり、ITという分野でも楽しく仕事をやっていけている要因だと思います。在学中の学生諸君には、すぐ近くに他分野を学んでいる友達がたくさんにいると思います。私の経験から伝えたいことは、その恵まれた環境の中で学科にとらわれない学びをしていただきたいなと思います。

比嘉 諒人（ひが あきと） 沖縄高専13期生 情報通信システム工学科 卒業生



支笏湖（北海道）での実験の様子

こんにちは。沖縄高専13期情報を卒業した比嘉諒人です。

私は高専を卒業後、編入学で東京農工大学に進学し、現在は大学4年生で研究室に所属しています。農工大は他大学と比べ認定される単位数が比較的に多く、多くの学生が3年生のうちに必要単位を取り切って、4年生では卒業研究に注力します。私も4年生から研究に励み、北海道に実験しに行ったり、共同研究で大阪に行ったりと、忙しくも楽しい日々を過ごしています。

高専で身につけたことで役に立ったと思うことは卒業研究の経験です。大学での研究はより学術的なものになりますが、研究の流れを一通り経験できている点は周りの同級生と比べても、一歩リードできている点だと思います。また、高専は大学に比べ発表やグループワークの機会が多いため、それらにしっかり取り組んでいれば自ずと力はついていると思います。

高専での5年間は長く感じますが、何にでも挑戦できる若い時代の貴重な時間です。ダラダラ日々を過ごすのではなく、何か目標を持って遊びも勉強もバランスよく全力で楽しめたら、きっといい思い出になると思います。やりたいことにいっぱい挑戦して、楽しい学生生活を過ごしてください。

坪田 庄真（つぼた しょうま） 沖縄高専1期生 生物資源工学科 卒業生

こんにちは。1期生・生物資源工学科卒の坪田庄真です（出身校：石垣第二中学校）。私は本科卒業後、専攻科に進学し、学位を取得しました。その後、指導教員であった池松真也先生と関わりのある名古屋大学大学院医学系研究科・門松健治先生の研究室（分子生物学講座）で修士・博士課程を修了し、2017年に医学博士を取得しました。現在も同じ研究室で助教として学生の講義や実習、自分の研究を行っています。研究は、小児がん神経芽腫の基礎研究で「なぜ小児にがんが出来るか?」という根本的な問いに対して、マウスモデルや患者さんから頂いた検体を使って実験を行っています。自分の発見が将来的に新規治療法の開発に繋がり、1人でも多くの患者さんを救うことが出来るかもしれない、という基礎研究の醍醐味を味わいたいという想いで研究者になりました。私のような経歴は高専卒にしては珍しいですが、高専にいた7年間で学んだ確かな技術力（知識・研究・実験・パソコンなどのITスキル）とパイオニア精神を持っていれば、多少異なる分野でも十分に渡り歩くことができます。「チャレンジしない≠現状維持」です。何もしないままは現状維持ではなく相対的に衰退しているのです。在学生のみなさんも、常に新しいことにチャレンジし、自分を成長させ、内に秘めているポテンシャルを最大限発揮できるよう日々頑張りましょう!

後学期行事予定

『高専祭』

10月29日（土）10月30日（日）

『研修旅行』

（本科3～4年）
12月6日（火）～12月9日（金）

『体育祭』

12月16日（金）

『冬季休校』

12月26日（月）～1月5日（木）

『終業式』

2月17日（金）

（問合せ先）
沖縄工業高等専門学校　総務課総務係
TEL：0980–55-4003　Mail：ssoumu@okinawa-ct.ac.jp